

感謝のうちに

主任司祭 吉池 好高

「いしずえ」も今月号から従来の体裁に復して、お届けすることが出来るようになりました。耐震工事期間中の多くの皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。今年の夏の酷暑の中、連日黙々とお働きいただいた工事関係者の皆様方、診断、設計から施工までアドバイザーとして、全期間を通して折衝に当たってくださった皆様方に厚く御礼申し上げます。場所を提供していただいた東京保育専門学校の御好意により、主日のミサを継続することができました。多くの皆様方への感謝に結ばれて、耐震工事が成った高円寺教会の私たち共同体の絆に心を向けてゆきたいと思えます。

信仰年の最中に、このようなプロジェクトを経験したことは、高円寺教会の私たちにとって特別な意味があったと思えます。この期間中、慣れ親しんできた高円寺教会の聖堂に集うことが出来なかったことを淋しくお感じになった方も大勢おられたことでしょう。体育館でのミサにご協力いただいた方々は、そのご負担の中でも、いつものミサとはちがった充実感を味あわれたのではないのでしょうか。他地域の聖堂共同体のミサに参加された方々は、新鮮な緊張感をお感じになられたことでしょう。これらのことが、信仰年が目指す、私たちの信仰を顧みるための刺激となったことを感謝しあえたらと思えます。

高円寺教会に対する私たちの思いは、高円寺教会の私たちにとって、私たちの信仰そのものです。私たちの高円寺教会に対する様々な思いをぶつけあい、率直な議論を経て今回のプロジェクトを形にすることができたことによって、私たちは多くのことを学ぶことができました。今回の経験によってあらためて私たちが学んだことは、私たちの教会は無前提にそこにあるというものではないということです。当然のことながら、聖堂がそこがあれば、自然に聖堂共同体が形成されるというものではありません。高円寺教会に集う私たち共同体のエネルギーがその生命力を維持し、私たちの間に通い合うことによって、今回耐震補強工事を施された、私たちの高円寺教会はその命脈を保てるのです。